

GO! GO! よしひろ

Vol.17
MAY.2009

りん!



埼玉県議会議員

鈴木よしひろ活動レポート

第17号

平成21年(2009)5月発行

〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347 TEL.048-948-2070 FAX.048-948-2071

ホームページ <http://www.misato-net.com/yosshi/> E-mail yosshi@misato-net.com

Think together
Go together

今、考えていること

今こそ、 日本の良さを伸ばす!



よし

埼玉県議会議員

鈴木よしひろ

政府は4月27日午前の臨時閣議で、新たな追加経済対策の裏付けとなる平成21年度補正予算案を閣議決定しました。100年に1度といわれる経済危機の克服に向け、当初予算と補正を合わせた21年度の一般会計総額は102兆4736億円で過去最大となつていきます。

一方、世界経済の低迷は未だ、続いています。回復の兆しは見えておりませんが、また先日のメキシコから各国に広がる豚インフルエンザをめぐっては、世界保健機関(WHO)が「国際衛生上の緊急事態」との声明を発表しており、世界経済への悪影響の懸念されています。

原点に立ち返る 勇気と努力が必要。 それをどうサポートするか。

このような中、今の経済苦境をどう乗り切るか?多くの方々様が様々な意見を出しています。鈴木はどう思うのかと問われれば、私としては「原点に立ち返り、汗を出して、知恵を出して乗り

切るしかない」と申し上げています。今、自分の立っている位置を総点検、再点検して見直しを含めて、商売の原点に戻っていくことが重要と思つています。

私は良く言うのですが、例えば話として、美味しくない食べ物の屋さんや、うちにお客が来ないからといって、どんなにサービスを良くしたって、宣伝をしたって、お客はつかない。自分が作っている食べものを美味しいと思つて、自信を持って言えるかどうか、こういうことをもう一度、突き詰めていかなければならない時代だと思つています。

今までは作つていれば売れた、先代の評判で売れた、他に店がないから売れた、こんなことが今の時代になって通用しなくなつて来ただけの話で、不味い商品をつくっている限りは値段を下げてでも食べに来る人はいない。こういう基本を見誤つてはいけないと考えています。

勿論、大手企業はリストラ、スクラップアンドビルドを行っているのですから、中小零細企業も自らの営業形態を絶えず見直していかなければいけません。し

かし、これだけでは立ち行きません。自分のところには、余所には必ず負けない強みや長所があるはず。それを先鋭化させていかないと生き残れないということ。です。

勤勉と創意工夫という我々日本人の持つ美風を再構築し、伸ばしていくことが次なる成長の基礎となることを忘れてはいけません。

そこを県の立場で、どのようにサポートしていけばよいか、私たちの課題であり、任務であると思つています。

制度融資の拡充や経営革新への支援をどれだけスピーディーに行っていくか、そして使いやすいサポートをしていくか、これからは私は議会の中で、声を上げていきたいと思つています。

暮らしの安心。

安全対策特別委員長。

警察危機管理防災委員に就任。

議会にあつては、2月定例会で公社

事業対策特別委員会委員長として、報告と提言を行いました。この中で、県から自立した組織体制・収支構造への移行についてや経営の透明性の確保など10項目の提言を行い、1年間の役目を全うすることができました。

4月からは同時に交通安全対策、防犯のまちづくり並びに暮らしと食の安心・安全確保に関する総合的対策について担当する「暮らしの安心・安全対策特別委員長」と、同時に公安委員会及び危機管理防災部に関する事項を担当する「警察危機管理防災委員」という新たな役務を務めて、参ります。不安の時代の中、どちらも県民生活の安心・安全に関する分野ですので、今まで以上に精力的に務めて参ります。

混乱の中にあつても怯むことなく、埼玉の明日に向かって、積極果敢に活動して参る所存です。引き続き、皆様のご支援・ご指導をお願い申し上げます。

鈴木よしひろ県議が知事らに提言

平成21年度予算特別委員会

鈴木よしひろ県議は、2月定例会の予算特別委員会で、知事、執行部に対して、予算の考え方や改革の方向性などについて質問を展開しました。鈴木よしひろ県議の既成概念にとらわれない新しい視

質問項目

- 1 平成21年度当初予算について
 - (1) 法人2税について
 - (2) 県債について
 - (3) 県営住宅事業特別会計について
 - (4) 地域整備事業会計について
 - (5) 水道用・水供給事業会計について
 - (6) 流域下水道事業について
- 2 職員の持つ技術の継承と職員定数について

職員定数の削減は現場の戦力ダウンにならないか。
 総務事務の余剰分を整理した結果、仕事量が減少したと考えてよいか。
 新行財政改革プログラムとは別に、各部署で仕事量と定数を検証し、精査する必要があると思うがどうか。
 法令違反の調査・指導は現場に向かえなければできないが、勤務時間に占める内部事務などの管理的業務と現場対応の割合はどうなっているのか。
 職員の技術力向上にどう取り組んでいるのか。

責任をもつ、きちんとしていくこと

職員は技術力向上として、県はどのように取り組んでいるのかお尋ねしたい。

総務部長の回答
日々の業務遂行、OJTという仕事を通した指導の他に、各職場では、職員に求められる専門的な知識や技術等を習得するために、土木技術や建築技術、福祉など、それぞれの分野との専門研修を行っている。

来年度からは、民間企業への派遣研修について、従来のどちらかという意識改革を中心とした派遣に加え、新たに、IT分野や建築分野など、各分野の専門家を育成することを目的として派遣を行いたいと考えている。また、国や外部団体が実施する専門的な研修などにも派遣している。

鈴木よしひろの提言

（課題は）副部長をやっていた人が課長補佐になって、モチベーションをあげて仕事を一生懸命やれるかという話。専門性のあるスタッフ制を取り、そこで集中的に後輩の指導なり検査なりをしてくれという考え方はどうか。



鈴木県議
一般会計と特別会計の会計が複雑。テクニカルな処理をあらため、わかりやすい財政運営を要望。

県は鈴木県議の指摘で知事も初めて知る。課題について認識をする。

鈴木よしひろの提言

県営住宅事業特別会計72億8千万円の財源の一部は一般会計から特別会計に繰り出した繰出金の一部約30億5千万円が充てられている。つまり、一般会計から出たお金が県営住宅事業特別会計を通して一般会計に戻っている。このような財源を循環させている理由をお尋ねする。

知事の回答

特別会計から一般会計への繰入金には、建物建設費に充てた県債の元利償還金、県営住宅敷地の借地料相当額、収入超過家賃額その他である。一方、公営住宅制度では市場家賃

と実際に入居者が負担する家賃の差額を国と地方公共団体が負担している。その部分を一般会計から繰り出す仕組みになっている。

単純に循環しているということではなくて、一方で返還してもらった部分があり、一方で負担する部分があるという理解をしていただきたい。

鈴木よしひろの提言

予算書は議員もよく勉強しなければ読み込めない。繰入れについては、たいへんテクニカルな処理をしていることを知事はご存じか。

鈴木県議(談)

国で言うところの埋蔵金(特別会計)が話題になっていますけれども、同じように余剰金がある可能性があるのではないかと、調べていて気づいたのが今回のきっかけです。

こうしたテクニカルな処理は議会でもチェック出来る範囲を超えていると思います。

今回私が指摘した財政処理も財政課の職員が専従としてやって理解できる位で他の県の職員に聞いてもよくわからないと言っています。

議員に対しては、そういう制度があるからやりくりしてやっているんですよ、という話で答弁している訳ですけど、結局、そんなことはしないで、もっとすっきりした方がよいという思いがあった質問しました。



鈴木県議

ビジョン無き、職員定数削減は県民サービスの低下を招く。業務効率を上げる仕組みが必要。

県は鈴木県議の指摘を考慮し、今後、再チェックを約束。

職員定数の削減は現場の戦力ダウンにならないか。

鈴木よしひろの提言

総務事務系が削減されたことにより、例えば技術の職員が総務の仕事をするなどしわ寄せが生じて

鈴木よしひろの提言

いないかという認識はあるか。
 総務事務の関係だが、私共としては全庁的なデータは持っていないが、実際に面談のヒアリングをしながら、これだけかですかというやりとりをしながら定数の改革につなげていく。

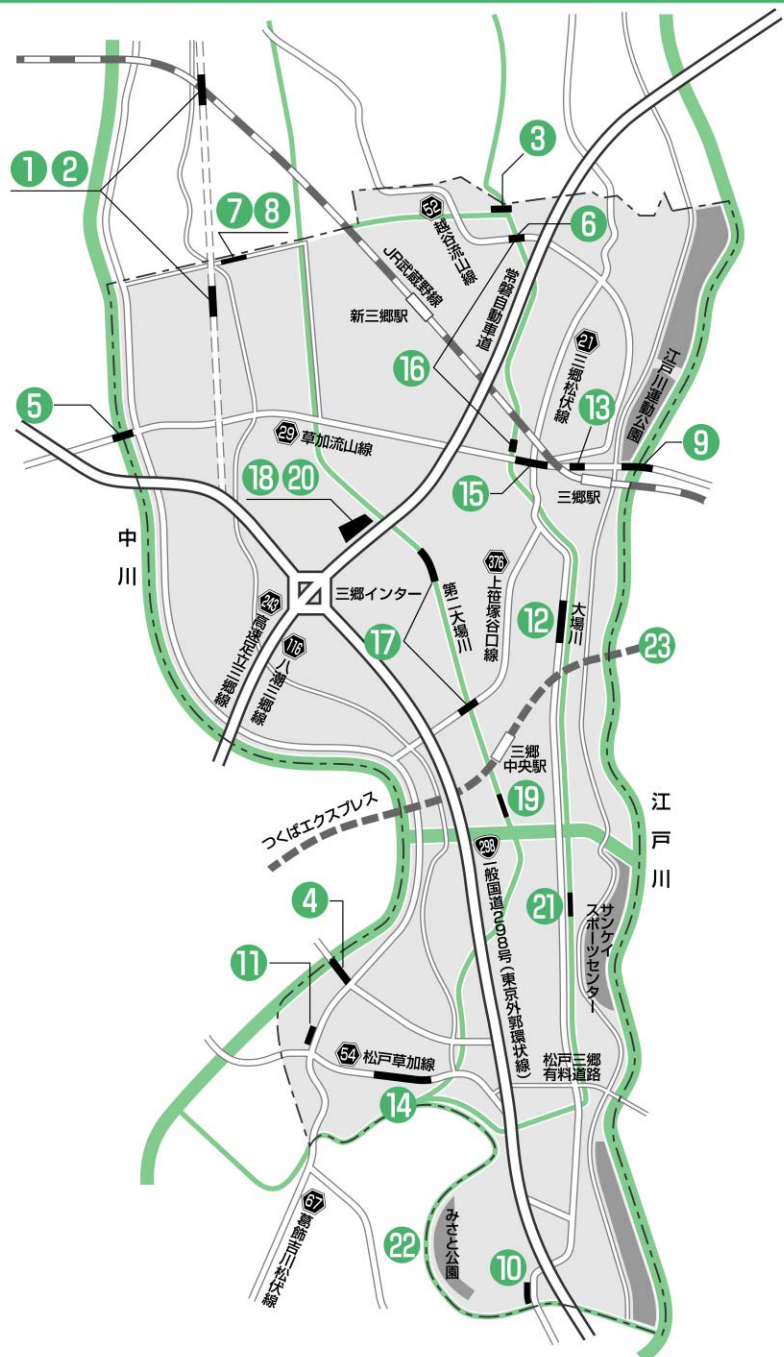
鈴木よしひろの提言

行政改革プログラムの中では22年度までに500人を削減する、また23年度までに670人削減していくという計画がペーパーで出ているが、最終的に知事は何人にすれば県庁はスリムで効率のいい人数になると考えているのか教えていただきたい。

知事の回答

目標人数を目的にしているわけではなく、担当者と話しながらどの程度可能かということや、その年度年度やっている。少なくとも、期四年という枠組みの中で作られた部分に関しては、

もっと便利に・快適に! 三郷市関連の予算 平成21年度県当初予算による三郷市の基盤整備事業



- 13 早稲田(草加流山線) 舗装道整備(低騒音舗装)
- 14 戸ヶ崎(松戸草加線) 舗装道整備(低騒音舗装)
- 15 三郷3丁目(松戸草加線) 舗装道整備(低騒音舗装)
- 16 大場川(小谷堀橋等) 総合治水対策特定河川事業
- 17 第二大場川 総合治水対策特定河川事業
- 18 第二大場川(彦野調節池) 防災調節池事業
- 19 第二大場川 住宅市街地基盤(河川)整備
- 20 第二大場川 河川改修
- 21 大場川 河川改修
- 22 みさと公園 公園等建設(管理施設改修)
- 23 三郷中央 つくばエクスプレス沿線地域整備推進

※地図で示している位置はおおよその場所です。

- 1 吉川松伏線 住宅市街地基盤(道路)整備事業
- 2 葛飾吉川松伏線 地方特定道路(改築)整備
- 3 越谷流山線 地方特定道路(改築)整備
- 4 松戸草加線(新中川橋) 地方特定道路(改築)整備
- 5 草加流山線(八条橋) 地方特定道路(改築)整備
- 6 越谷流山線(小谷堀橋) 地方特定道路(改築)整備
- 7 三郷流山線 地域活力基盤創造交付金
- 8 三郷流山線 地方特定道路街路整備
- 9 流山橋(草加流山線) 橋りょう修繕
- 10 高洲(松戸草加線) 地方特定道路(交通安全整備)
- 11 戸ヶ崎(松戸草加線) 自転車歩行者道整備
- 12 幸房(三郷松伏線) 舗装道整備(低騒音舗装)

REPORT

2月定例会のぐ報告

2月23日(月)
3月27日(金)

一般会計は1兆7千45億59万3千万円。(補正含む)

厳しい財政の中、
景気に配慮

我が国経済は、世界的な経済の減速から、深刻さを増し、百年に一度と言われる厳しい状態にさらされています。

こうした影響を受け、企業収益の動向に左右されやすい法人関係税をはじめとした県税収入は大幅に減少すると見込まれ、これに加え、財政調整のために活用できる基金残高も減少しており、一般財源の確保は大変厳しい状況となっています。

一方、歳出面では、高齢化の進展に伴う福祉・医療関係経費や退職手当などの義務的経費は確実に増加することが見込まれるほか、県債残高は増加傾向にあり、県の財政は以前にも増して厳しい状況となっております。

県内の経済・雇用情勢は、世界同時不況の影響などから一段と厳しさを増しており、景気対策は最優先の課題となっています。

重点は
埼玉県緊急経済対策。

このことから平成21年度当初予算編成は、「埼玉県緊急経済対策」として、将来を見据え「県民の生活を守るセーフティネットの充実」と「県内経済の活性化」に最優先に取り組みました。その結果、平成21年度の当初予算の規模は、一般会計では1兆6千959億5千100万円、

対前年度伸び率では、1.3%の減となりましたが、借換債の影響を除く実質的な伸び率は1.0%の増となっています。

また、特別会計は4千893億9千101万4千円、対前年度伸び率では33.7%の増、一般会計では1千598億273万2千円、対前年度伸び率では15.0%の増となっています。

3月4日には、雇用創出効果の高い事業や消費生活相談窓口の機能強化、福祉・介護の人材確保など、県民生活に直結した緊急に対応すべき事業に限定し、平成21年度の補正予算も編成されました。

この結果、一般会計の補正予算額は、85億4千959万3千円となり、当初予算との累計額は、1兆7千45億59万3千円となっています。

新規事業の
主なものは…

次に新規事業の主なものを抜粋します。

「県民の生活を守るセーフティネットの充実」として、消費者等の安心確保のため、「主任消費生活相談員」を配置、悪質事業者に対する指導を強化します。勤労者向けの制度融資を融資枠を2億円から3億円に拡大。失業期間中の生活資金や子どもの進学費用など勤労者への経済的支援を進めます。女性の安心確保として、ひとり親家庭の母親等の女性の就業等、自立に向

けたチャレンジ支援。子どもの安心確保として、保育所整備、認定こども園や企業内保育所の一層の設置促進など、保育サービスの受入枠を拡大します。

「県内経済の活性化」は、環境分野への戦略的な投資により内需拡大を図る「埼玉版グリーン・ニューディール」を導入。太陽光発電の普及拡大のため、全国トップレベルの住宅用太陽光発電への助成制度を新設。

また民間事業者に対し、低利貸付の特別枠を確保し、普及拡大を支援します。次世代自動車の普及促進や環境ビジネスの振興も行います。

県内中小企業の環境ビジネスを支援するため、融資や技術支援、マッチング支援を行うことで、ビジネスチャンスの拡大を図っていきます。

みどりと川の再生のために、前年度比2.4倍の事業費を投入し、安らぎとにぎわいのある空間の創出と清流復活の取組を加速させます。

中小企業対策として、中小企業の厳しい経営状況に対応するため、融資枠を現在の4千200億円から300億円拡大、4千500億円を確保します。同時に「セーフティ緊急融資」や「予約貸付枠」を創設するなど、セーフティネットの充実を図り、中小企業の資金需要に万全を期していきます。

鈴木よしひろ県議はこれら政策の効果を見直し、さらなる対策を働きかける決意でいます。



ヨッシーの活動日誌

※主に埼玉県議会議員としての公務を中心にした活動報告です。

平成21年

- 1月 1日 元旦参り
- 1月 3日 戸ヶ崎地区連合会賀詞交歓会
- 1月 4日 新春ペタンク大会(みさと公園)
- 1月 6日 埼玉県知事賀詞交歓会(埼玉県知事公館)
- 1月 9日 三郷インター-A地区土地区画整理組合新年会
- 1月11日 第27回三郷市スポーツ少年団新春柔道交流大会(三郷市総合体育館)／平成21年三郷市消防出初式(三郷市文化会館前)
- 1月12日 平成21年成人の日 式典(三郷市文化会館)
- 1月13日 全国高等学校総合体育大会第3回総会(三郷市役所)
- 1月14日 越谷法人会新年賀詞交歓会(越谷コミュニティセンター)
- 1月15日 三郷市商工会 新春賀詞交歓会並びに記念公演会(三郷市商工会館)
- 1月17日 平成21年自由民主党青年部・青年局、女性局合同全国大会(党本部)
- 1月18日 第25回彩の国21世紀郷土かるた三郷大会(三郷市総合体育館)／三郷市スポーツ少年団 新春懇談会(三郷市文化会館)
- 1月24日 高州・東町地区町会長連絡会 合同新年会(美加和)

- 1月26日 越谷法人会三郷支部 賀詞交歓会(三郷市商工会館)
- 1月28日 三郷婦人連絡協議会 新年会(金寿司)
- 1月31日 三郷市スポーツ少年団教育長杯 バレーボール大会(三郷市総合体育)／第23回日韓児童図画交流展及び表彰式(三郷市文化会館)
- 2月 1日 みさとハーフマラソン／鈴木よしひろ後援会 県政報告会(JAさいかつ本店)／三郷市空手道連盟 新春懇談会(魚惣)
- 2月 2日 自民党埼玉県連 研修会(埼玉会館)
- 2月 3日 文教委員会 視察(3日・4日)(東京都立あきる野学園)
- 2月 4日 文教委員会 視察(3日・4日)(伊東市立南小学校)
- 2月 6日 自民党 埼玉県連青年部 講習会・勉強会(党本部)
- 2月 7日 鈴木よしひろ後援会 県政報告会(彦成地区文化センター)
- 2月 8日 埼玉獣医師創立60周年記念展(大宮ラフォーレ清水園)
- 2月 9日 平成21年度自民党埼玉県連 団体要望に対する説明会(埼玉県本庁舎)



消防出初式で激励の挨拶



現場を視察し政策に活かす



イベントで知事と交歓

埼玉県議会議員

鈴木よしひろ 46歳

連絡先／〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347

鈴木よしひろプロフィール

●昭和37年11月生●三郷市立吹上小～栄中学～日本大学第一高校～日本大学理工学部卒●参議院議員・(故)土屋義彦秘書～平成11年、埼玉県議会議員初当選(現在3期)●(社)越谷法人会青年部監事、市内小学校PTA顧問、県立三郷高校PTA・後援会顧問、三郷市スポーツ少年団顧問、三郷リトルシニアチーム会長、三郷市サッカー協会会長、三郷市囲碁将棋連盟顧問等

TEL.048-948-2070 FAX.048-948-2071

●ホームページ <http://www.misato-net.com/yosshi/> ●E-mail yosshi@misato-net.com